

コロナウイルス感染拡大／各単組のとりくみNO.11

2020年5月21日 大生連事務局

- 泉大津** ①**給付金**：10万円の給付金の問い合わせの電話はある。
②**相談会**：6月14日になんでも相談会を開催、案内ビラ3800枚の配布。相談会は感染予防のため予約制にする。
- 貝塚** **給付金**：5月12日から10万円の給付金の申請が始まった。申請用紙の書き方や添付書類についての相談が増加。生活保護世帯からは、給付金が支給されるかの問い合わせもある。
- 柏原** ①**給付金**：休業要請給付金、持続化給付金の相談が続いている。10万円の給付金の申請用紙が5月16日に届いたので、書き方の相談も増えている。柏原市は、公共料金の引き落としの口座へ振り込む場合は身分証明書が不要。
②**宣伝**：府営住宅に300枚のビラを配布。
③**生活保護**：ビラを見て86歳の女性から相談。年金が月67000円ほどで、息子と孫の援助で暮らしていたが、息子がコロナの影響で店が収入減になり、援助できなくなった。生活保護を検討。
- 松原** ①**給付金**：府の休業要請給付金の相談が3件あった。
②**生活保護**：日雇いの人からも相談があったが、給付対象外のため、仕事が安定してできるようになるまで生活保護の活用もできると相談中。
- 東大阪** **税の自主申告**：確定申告の控えをとりに来る会員が先週だけで200名。事務所内が密にならないよう、事務所内に入る人数を制限しながら対応している。
- 堺** ①**給付金**：休業要請給付金と持続化給付金の相談がほとんど。添付書類の煩雑さや持続化給付金はweb（ウェブ）申請のみのため、「本当に申請できるのか」と不安の声も上がっている。紙の申請用紙がほしい。
②**宣伝**：今週ビラ宣伝をする。配布するのは住宅地や商店のあるところを中心にまく。

【守口市の「夜間・休日受診証」の廃止に抗議する】

門真・守口生健会は「維新」守口市に対して、生活保護利用者が10万円の特別給付金を請求する際の身分証明として、「保護決定通知書か夜間・休日受診証にすること」と要望書を出しました。ところが同市は「夜間・休日受診証は廃止した」と回答してきました。

20年数年前、大生連は大阪府と交渉をした際に、生活保護を利用している母子世帯のお母さんが、「子どもが夜、熱を出したが、保険証がないので、病院に行けなかった。何とかして欲しい」と泣いて訴えられ、こうした訴えに大府は「夜間・休日受診証」を「子ども家庭センター」で実施しました。これを契機に、府下の市も次々と実施しました。

守口市では「夜間・休日受信証」を廃止したため、深刻な事態が起こっています。先日も守口市内の生活保護を利用する男性が夜中に発作を起こし、病院で診察してもらったところ 全額を請求 されました。

守口市のやり方は不当です。門真・守口生健会と大生連は、交渉もふくめて「夜間・休日診療証」の復活の運動を起こします。

全生連・大生連は国や自治体に対し、生活保護利用者にも国保証なみの保険証をつくるよう要望を続けています。

（各市でも「夜間・休日受診証」がどうなっているか、ご確認をお願いします）